

## 編集後記

国をあげて、奇跡を願って臨んだワールドカップ、ブラジル戦。前半、パール・ハーバーを思い起こさせた一瞬の夢も、終わってみれば、事前の戦力評価どおりの結果でした。交流のあったクロアチアを応援した十日町の住民に、特に女性から、非国民との抗議が殺到したそうです。高揚されてゆくナショナリズムを、皆様はどのように感じられるでしょうか。8月15日も気になるところです。テレビは、ニュースがホットです。某IT企業に続いて、投資ファンドトップの逮捕。国策を巨大な利益誘導に利用してきた、みえかくれする黒い？影。いっぽうで、障害者自立支援法が運用されはじめ、現場は大混乱。法の理念に賛同した障害当事者が、僅かな年金からはぎとられてゆき、怒り、うろたえるのを、日々目のあたりにします。破産状態の国家財政、しかたがないというが、しかし、もう少し、人にやさしい国であってほしいと思う。医療費の削減も、聖域なく、リハの打ち切りが現実になり、なんとかしないといけないと考えていると、悠長に回復期リハのアンケートをとっている時間がなくなっ

たというのが、前回、華々しくうちあげた、回復期リハ特集が、今回、しゅんとしぼんでしまった理由だにご容赦ください。それでも、武澤先生には、リハ支援センターのまじめな記事を書いていただくこともできましたし、なにより、発行することができるのが最大の収穫です。第44回日本リハ医学会学術集会(住田幹男先生)も次第に近づいてきますので、近畿のリハ医のパワー結集をよびかけて編集後記にかえさせていただくことにいたします。(石川和弘)

